

平成27年7月6日

二島中学校だより

No.4

北九州市立二島中学校

校長 森 隆

ようやく梅雨明けも近く、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。

さて、1年生は、「ふれあい合宿」も無事終わり、楽しく充実した時間を過ごすことができました。友人や先生、自然とふれあい、楽しい宿泊行事を通して大きな学びの場となりましたので、今後の家庭や学校の生活に生かされていくことと思います。

さて、どの学年の生徒も、6月17日～19日にかけて行われた期末考査の結果を見て、一喜一憂したことと思います。3年生は、義務教育最後の年の学習のまとめとして、そして高校入試等に向かって学力を高めなくてはなりません。1・2年生も、そのゴールへの過程として学習することを積み上げていく必要があります。いずれにしても今、やるべきことは、この結果を受けて2学期からの学習に備えて、夏休みの学習計画を作成していくことです。

また、部活動生徒にとっては、明日から3年生最後の夏の大会が始まります。全力で頑張ってください。一つの目標に向かって、チーム一丸となって真剣にそして本気に取り組む姿勢は、一生の宝物となります。皆さんの活躍を心から応援しています。

さて、6月の行事と日々の学校生活を紹介します。

○ 6月5日 生徒総会

生徒総会では、生徒会執行部はじめ各専門部長が年度当初から準備を推し進め、活発な意見交換ができ、素晴らしい総会になりました。生徒会は全校生徒による活動ですが、生徒会役員たちが中心となって行う活動です。本当にありがとうございました。総会の意見を職員会議で検討し、今後に生かしていきたいと考えています。



○ 6月6日 人権映画鑑賞

平和を大切にすることを育むために、「うしろの正面だあれ」の映画を鑑賞しました。昭和20年3月東京大空襲で6人の家族を失ったエッセイストの海老名香葉子さんの体験を描

いたアニメーション映画です。この映画を見ての感想を紹介します。

【1年女子】

この映画を見て、戦争の恐ろしさやその家族を失った人々の悲しさなどが心にしみわたりました。そして、戦争は絶対に何があってもやってはいけない恐ろしい事なのだと思います。それにこの映画を見て、家族の大切さや命の大切さを改めて知ることができました。今の日本の現状から考えると、将来戦争があってもおかしくないと思いました。日本は戦争をしないと決めたのに、最近では「集団的自衛権」の問題があり不安がつります。

もし、また戦争があり多くの人々が亡くなれば、国民の心の傷ははかりしれません。なので、少しでも多くの人に戦争について深く知ってほしいと思います。今でも世界のどこかで戦争があっているかもしれません。同じ人間同士で戦い殺し合うというのは、とてもつらいことです。まずは、命の大切さを知って平和の大切さを知るのが、今の日本には必要だと思います。そして、戦争に対する深い知識をつけておけば良いと思います。

【2年女子】

戦争はビデオでしか見たことないので、昔の出来事みたいな感覚になるけど、まだ戦争を体験した人が生きていて、80年ぐらいしか経っていないと考えたらビックリします。その本人（ビデオに出た主人公）がそれを映画にして「もう二度と同じような悲惨な戦争をさせないようにする」というのは、すごいと思いました。家族が7人もいて、そのうち5人も亡くなるのは、小さい時だとなおさら辛いだろうなと思いました。

この前、友達と電車に乗っていて、一緒に座ってきたおじいさんとおばあさんは80代の方で、私が次に降りる駅までの間、戦争の話聞かせてくれました。爆弾の名前とか聞いたことのない機械の名前を言っていました。甘いものが貴重だったとかも言っていました。このことを思い出しました。なので、これから戦争はしないようにしたいです。

【3年男子】

みんな思っていると思いますけど、絶対にもう戦争はしてはいけないと思います。なぜならこの映画であった通り、大切な家族、親族を失って悲しい思いをする人がいるので、戦争などをもう絶対にしてはいけないと思いました。

今、世の中でもイスラム国で戦争が行われていたり、アフリカで先住民同士での戦争が行われたりしているので、いつ日本でも戦争が行われるかわかりません。だけど、今日の映画を観て思ったことが、当たり前であった1日1日が、ある一つの戦争により一瞬にして何もかもなくなるということと、戦争で亡くなる人だけでなく、戦争の被害で無くなった食糧・飲み物などを食べられずに亡くなる人もいるということです。そういった中、産まれたばかりの赤ちゃんや二人の兄・親・おばあちゃんを亡くした香葉子さんは、精神的にとってもショックだと思いました。しかし、最初の頃泣き虫だった香葉子さんも家族を亡くした逆境を乗り越え、成長して泣かなくなった所にすごいなと思いました。もし自分が戦争で家族が亡くなったら精神的にショックを受け、自殺してしまうのではないだろうかと思います。それぐらい悲しい経験は、絶対にしたくないと思いました。

○ 6月9日 学力向上のための研究授業 家庭科 : 1年4組 桑畑芳奈教諭

先生方は、生徒一人一人の学力向上を目指して、少しでもわかりやすく楽しい授業を行うよう努力しています。そのために、教育委員会から指導主事に来校いただき、指導してもらいました。そしてさらに、我々指導者の授業力を高めるために、本校教師同士がお

互いの授業を見せ合い、助言し合う研究授業も行っています。



○ 6月13・14日 陸上部区内大会

陸上競技は、他部活動より一足先に鞘ヶ谷陸上競技場で、中体連夏季区内大会が行われました。成績結果は下記のとおりです。本当におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。市内大会も頑張ってください。

《男子》	1年	100m	優勝	1組	加藤雄大
《女子》	1年	100m	優勝	3組	田中愛生
	2年	800m	準優勝	1組	橘未也美

なお、市内大会は、7月11・12日に、鞘ヶ谷競技場にて開催されます。応援しましょう。

○ 6月15日 家庭教育学級 開級式

二島市民センターとPTAの成人教育委員会による家庭教育学級開級式がありました。

二島中学校のサポートルームで、開級式後、善家三知代教頭先生による講話がありました。学校の激務と3人の子育てを両立させ、日々奮闘している先生だからこそ話せる素晴らしい内容のお話を聞くことができました。

【善家三知代教頭による講話】

「私の子育て経験から」と題して、約70分間の非常にためになる講話でした。特に「我が子を誉めるために」という内容が印象に残りました。参加者全員にわが子の良さを披露して頂きましたが、どの方も素晴らしいお話でした。「自分の子は頑張っていると思っていても、言葉にしてそれを子どもに伝えることは少ないのではないでしょうか。誉めることで子どもは自信をつけていきます。しっかり誉めて、我が子の成長を見守りましょう。」と結ばれていました。



○ 6月17日 学校支援地域本部事業

毎週水曜日に、地域の方々が特別支援学級の1年6組・2年4組・3年5組の生徒たちに、

畑作業を通して、様々なことを学習しています。野菜を作る過程や作物収穫時の勤労の喜び、植物が成長していく過程やその性質など教室での学習で味わえない貴重な体験をしています。

【ジャガイモ・きゅうり・ピーマン・なすの収穫】



【なすの茎を支柱に結びつける方法を模範指導】



○ 6月29日～7月1日 1年生 ふれあい合宿

ふれあい合宿では、1年生164名、特に大きな事故もなく、無事帰ってきました。天候は、良いとは言い難い状況でしたが、その暗雲を吹き飛ばすような生徒たちの元気な笑顔が印象的な合宿でした。さまざまな体験を通して、合宿を心から楽しみながら、スローガンの言葉通り「共に成長、深める信頼・輝く笑顔、一歩先の自分へ」が達成できたと思っています。今後の学校生活や家庭での生活、そして将来に生きてくるものと信じています。

【朝の集い：左から真剣に話を聞く様子、国旗・市旗・所旗掲揚、ラジオ体操】



【みんなで、楽しい食事の時間】



【実行委員によるパフォーマンス】



【レザークラフトづくり】 ☆素晴らしい作品完成！

☆真剣に取り組む様子！



【元気に、ハイキングに出発】

(雨天のため平山観音まで登って下山)



【海賊の大冒険の説明を真剣に聞く！】



【海賊の大冒険の表彰シーン】 →

【大縄クラスマッチで大盛り上がり】



【実行委員の活躍で、素晴らしいふれあい合宿になりました。ありがとう！】



先月、2年生の農村宿泊体験学習の引率で、小国に行ってきましたが、その時に「須永博士美術館」に入りました。小さな美術館でしたが、須永氏の詩集や生き様の本、写真などを見て大きな感動を覚えました。その中の一端「小さな夢の詩集」の一部を紹介します。この詩を読むだけで、心が元気になります。（「ひとりぼっちの愛の詩」より）

※須永美術館より、掲載の許可を頂きました。ご快諾頂き、ありがとうございます。

